学校番号	４０９

平成 31 年度　国語科

教科	国語	科目	古典Ｂ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編古典Ｂ（大修館書店）						
副教材等	新版三訂　カラー版　新国語便覧（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・　有名な古文と漢文の作品に親しむとともに、正しく心情等を理解するために語彙力や文法の知識をしっかりと身に付けてください。
・　古典の学習に主体的にと陸も事によって、古典に親しむ態度、伝統と文化を尊重する態度を身に付けることができるようになってください。

2　学習の到達目標

・　古典としての古文と漢文を読む能力を養うとともに、ものの見方、感じ方、考え方を広くし、古典に親しむことによって人生を豊かにする態度を養う。
・　古典に用いられている語句の意味、用法及び構造を理解する。
・　内容や表現の特色を理解して読み味わい、作品の価値について考察する。
・　古典を読んで、我が国の文化の特性や中国の文化との関係について理解を深めること。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:読む能力	c:知識・理解
観点の趣旨	古典で読む力を進んで高めるとともに、古典についての理解や関心を深めようとしている。	古典を読んで思想や感情などを的確に捉えたり、その価値を考察したりして、自分の考えを深め、発展させている。	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまりなどの理解を深め、知識を身に付けている。
主たる評価方法	行動の観察 記述の点検 （ノート、ワークシート等）	記述の確認及び分析（ワークシート） 定期考査	行動の観察 記述の確認 （ノート、ワークシート等） 定期考査 小テスト

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点			単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c		
1学期	説話	教材: 『沙石集』 『今昔物語集』 文法等…動詞・形容詞・形容動詞の活用	○	○	◎	a:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めようとしている。 b:文章に描かれている人物の心情を表現に即して読み、異なる立場から読み深めている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a、b、c: 行動の観察と確認
	随筆	教材： 『枕草子』	○	◎	○	a:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしようとしている。 b:文章に描かれている情景を、文や文章、語句などから離れないようにして読み、人物の言動や状況を捉える手掛かりとしている。 c:古文を読むことに役立つ、文語のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト
	歴史物語	教材： 『大鏡』	○	○	◎	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 b:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書いている。 c:書くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、c: 記述の点検と確認及び定期考査
2学期	日記	教材： 『紫式部日記』	○	○	◎	a:話す内容について幅広く資料などに当たって調べようとしている。 b:話す内容について幅広く資料などに当たって調べている。 c:話すこと・聞くことに必要な文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b、c: 記述の確認及び定期考査

	物語の内容を理解するⅠ	教材： 『源氏物語』 文法…助詞・助動詞、敬語の確認	○	◎	○	a:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付こうとしている。 b:人物、情景、心情などを、どうして書き手がこのように描いているのかを捉え、象徴、予兆などに果たしている効果に気付いている。 c:文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a:行動の観察及び記述の点検 b、c: 記述の確認及び定期考査
2学期	漢文入門	教材: 故事成語 「漁夫之利」 句法等…訓点、再読文字	○	◎	○	a:我が国の言語文化は、中国をはじめとする外国の文化の受容とその変容を繰り返しつつ築かれてきたことに気付こうとしている。 b:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 c:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認及び定期考査 c:小テスト及び定期考査
	物語の内容を理解するⅡ	教材: 『大和物語』	○	◎	○	a:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合おうとしている。 b:相手の考えを踏まえて自分の考えを説明したり、考えを相対化したりして話し合っている。 c:話すこと・聞くことに必要な、文章の形態や文体の違いによる特色について理解している。	a、b、c: 行動の観察と確認及び分析
3学期	様々な漢文を読むⅠ	教材: 「不忍人之心」 「人之性悪」 句法等…訓点、再読文字	○	◎	○	a:文章の形態や文体、語句などに合った適切な表現の仕方で書こうとしている。 b:文章の組立てや骨組みを的確に捉えている。 c:漢文を読むことに役立つ、訓読のきまりを身に付けている。	a:行動の観察及び記述の点検 b:記述の確認と分析及び定期考査 c:小テスト及び定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度
b:読む能力　　c:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域（「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」）に関わる観点には◎を付している。